

第三十回

熊本城（熊本県熊本市）

「櫟」主宰

江崎 紀和子 選

熊本市賞

阿蘇はいま涅槃のすがた手をあわす

熊本県熊本市

丸山 風太郎

特選二句

東風に舞ふ花と宴と櫓かな

熊本県熊本市

角田 光明

地の揺れし城の瓦にさくら降り

熊本県熊本市

上田 幸子

投句総数

三十句

開函日

平成三十年四月三十日

第三十回

法隆寺周辺（奈良県斑鳩町）

「標」主宰 江崎 紀和子 選

奈良・斑鳩町賞

夢殿の宝珠を舞へり春の雪

奈良県北葛城郡河合町

荻野 鷹生

特選三句

つばくろを放ちて高き磨崖仏

奈良県生駒郡斑鳩町

内田 良平

風を呼ぶ風と舞ひけり春の雪

奈良県生駒郡三郷町

堀 真人

春遠からじ神鹿に日の匂ひ

奈良県天理市

松田 吉上

投句総数 七十五句

開函日 平成三十年四月三十日

第三十回

博物館明治村（愛知県犬山市）

「櫟」主宰

江崎 紀和子 選

子規はいく賞三句

寝ころんで猫を抱擁春の風

岐阜県多治見市

小口

智也

百年の杉のものけ花粉症

愛知県春日井市

野田

公雄

片栗の花山風のさからはず

東京都八王子市

溝口

八重子

特選三句

卒業を明日にひかえて明治村

滋賀県米原市 今中 雅美

木曽川の水面をわたる春北風

東京都立川市 武田 道代

あのはなはかたくりのはなみつけたよ

愛知県名古屋市 永田 日茉莉

投句総数 二九二句

開函日 平成三十年四月三十日

第三十回

子規庵（東京都台東区）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選三句

古地凶手に歩く我が街春立ちぬ

岐阜県中津川市 伊藤 三千江

子規庵の畳に日差しあたたかく

大阪府大阪市 岸村 良子

黄水仙うつむく子規の姿かな

東京都台東区 薦田 愛

投句総数 二十八句

開函日 平成三十年四月三十日

第三十回

記念艦「三笠」(神奈川県横須賀市)

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選三句

惜春や艦首飾りの金剥がれ

千葉県市川市 大橋 有美子

羅針儀の磨きぬかれて春灯

東京都世田谷区 影山 十二香

種を蒔くこのみちのくの福島に

埼玉県東松山市 牧野 和慶

投句総数 五十一句

開函日 平成三十年四月三十日

第三十回

大和ミュージアム（広島県呉市）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選三句

波の音聞きて我が身の寒さかな

愛知県日進市 磯部 大輔

蜆汁掌に馴染みたる漆器椀

静岡県静岡市 小川 明美

春日射す戦艦大和船縁に

和歌山県田辺市 立石 喜江

投句総数 六十七句

開函日 平成三十年四月三十日

第三十回

歴史博物館・漱石公園（東京都新宿区）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選三句

俳人の漱石親し梅の花

茨城県水戸市 井川 水衛

夏目家の硝子のゆがみ鳥帰る

東京都板橋区 榎並 伸一

桜蕊降る山房の猫塚に

千葉県船橋市 斉藤 光男

投句総数 一六六句

開函日 平成三十年四月三十日

第三十回

鶴ヶ城（福島県会津若松市）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選三句

桜待つ守りの堅き鶴ヶ城

千葉県千葉市 石田 航也

我が城は白亜の壁と雪つぶて

東京都練馬区 安川 潤一

春風のにほひ流るる鶴ヶ城

埼玉県川越市 山口 直人

投句総数 四十五句

開函日 平成三十年四月三十日

第三十回

東松山市（埼玉県東松山市）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選句

染め抜きの団の半纏野火守る

埼玉県東松山市 新井 基文

投句総数 二十二句

開函日 平成三十年四月三十日

第三十回

羽二重団子本店（東京都荒川区）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

俳句のまちあらかわ賞

終電に向かう足元猫の恋

東京都荒川区 町田 美幸

特選三句

そのことは触れずにおきし桜貝

東京都荒川区 高安 政江

冬茜車窓に富士のシルエット

東京都荒川区 谷井 千絵

羽二重の団子おいしい雛節句

東京都府中市 橋場 斐子

投句総数 五十八句

開函日 平成三十年四月三十日